

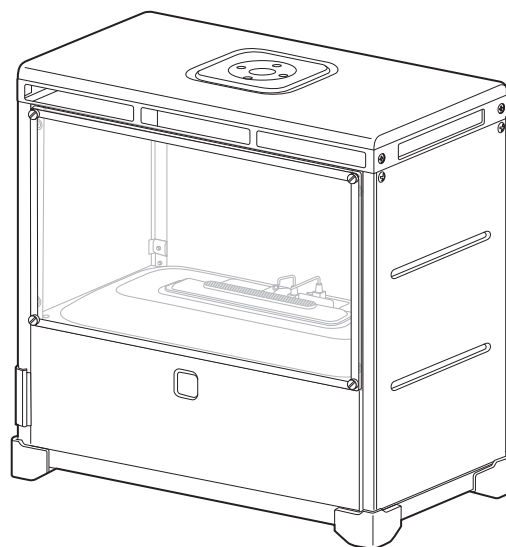
取扱説明書

Iwatani

炎を楽しむインテリア暖炉

MYDANRO 一般家庭用

CB-MDR-1



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、記載内容に従って正しくご使用ください。
そしてお使いになる方がいつでも本書を読めるよう大切に保管してください。

この製品は炎のゆらぎを楽しむインテリア暖炉です。
空間全体を温める暖房機能はありません。
誤った使い方や特殊な使用をすると、けがや火災など
思わぬ事故の原因となったり、本製品が故障、焼損するおそれがあります。
この取扱説明書に記載されている注意事項に従って正しく使用してください。

目次

表紙(このページ)	1
各部の名称と働き	2 ~
・主な仕様	3
使用上の注意	4 ~
・容器(ボンベ)の取扱いについて	7
使い方	8 ~
「故障かな?」と思ったら	10 ~
部品のご案内	11
使用後のお手入れと点検	11
アフターサービス	12

ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください

〈ご使用の前に〉

製品を正しくお使いいただくため、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害の発生が想定される場合を表しています。

〈絵表示には次のような意味があります〉



危険・警告・注意
を促す図記号



必ず行う内容



禁止内容



接触禁止



分解禁止

岩谷産業株式会社

各部の名称と働き

バーナー 表面でガスが燃焼します。

電極 火花が出てパイロットバーナーとバーナーに点火します。

フレームロッド 不完全燃焼を検出します。また、立ち消え安全装置としても働きます。

パイロットバーナー 不完全燃焼防止装置です。※バーナー燃焼中はパイロットバーナーも常時点火しています。

圧力感知安全装置 容器(ボンベ)の中の圧力(=温度)が異常に高まる(約40℃以上)と、自動的に容器(ボンベ)を離脱させ炎を消します。

本体前面

耐熱ガラス(取り外し可能)

空気取り入れ口

容器(ボンベ)カバー

容器(ボンベ)受けガイド凸部

マグネット(容器(ボンベ)を保持します)

容器(ボンベ)
この製品には以下の専用容器(ボンベ)を使用してください。

切込み凹部
キャップ

[イワタニカセットガス]と表示されているもの

本体銘板

製造年月: イワタニカセットガストーブ 25.07- J 0000000

型式名: CB-MDR-1 株式会社 旭製作所
総販売元 君谷産業株式会社
ガス消費量: 0.56kW Made in Japan

PS LPG JIA 認証

本体背面

お香トレイ
お香カバー

注意喚起印刷

排気口

背面パネル(取り外し可能)

器具せんつまみ

電池ボックス

注意喚起ラベル

お香トレイ、お香カバー、耐熱ガラス、ビスは部品として購入が可能です。

お香トレイ
品番: ブラック CB-MDR-TRAY
アイボリー CB-MDR-TRAY-IV

お香カバー
品番: ブラック CB-MDR-COVER
アイボリー CB-MDR-COVER-IV

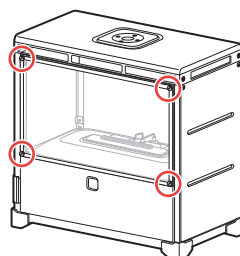
耐熱ガラス
品番: ブラック CB-MDR-GLASS
アイボリー CB-MDR-GLASS-IV

ビス(4個セット)
品番: CB-MDR-BIS

■耐熱ガラスと背面パネルの取り外し方／取り付け方

バーナー周辺をお手入れするときは、以下の要領で耐熱ガラスや背面パネルを取り外してください。耐熱ガラスと背面パネルは右図に示す4箇所ビスで固定されています。お手入れ後はビスを付けて固定してください。

- 耐熱ガラスや背面パネルを外したまま、本製品を使用しないでください。



注意

内部の部品には触れない
部品の端部などでけがをするおそれがあります。

安全装置について

本製品には4つの安全装置が搭載されています。各安全装置の働きは以下のとおりです。
使用中に安全装置が作動しバーナーが消火したときは、すぐに器具せんつまみを「OFF」の位置に戻し、作動時の対処方法に従ってください。

名称と働き	作動時の対処方法
圧力感知安全装置 容器(ボンベ)が過熱されて温度が上がると容器(ボンベ)内の圧力が異常に高まると、自動的に容器(ボンベ)を離脱させ消火します。	以下の手順で対処してください。 ①器具せんつまみを「OFF」の位置に戻す。 ②容器(ボンベ)を本製品から取り外す。 ③「使用上の注意」(P.4~7)をよく読み原因を取り除く。 ④新しい容器(ボンベ)をセットする。 (新しい容器(ボンベ)がない場合は、取り外した容器(ボンベ)を水で冷やしてセットする。冷やさないと再び容器(ボンベ)が外れる場合があります) ⑤点火する。→元通り正常に使えます。
立ち消え安全装置 風などによって火が消えると、自動的にガスを遮断します。	点検後、風があたらない場所で再点火してください。
不完全燃焼防止装置 本製品周辺の酸素濃度が低下してバーナーが不完全燃焼を起こす前にガスを遮断して消火します。	●部屋の換気を十分に行い、再点火してください。 ●空気取り入れ口を確認し、ほこりが詰まっている場合は掃除機などで吸い取ってください。
転倒時消火装置 本製品が倒れたり強い衝撃が加わると、自動的にガスを遮断して消火します。	水平で安定した場所に設置してください。

●安全装置が作動した後、点検して再点火してもたびたび同じような作動を繰り返す場合は、裏表紙に記載のお客様相談室にご連絡ください。

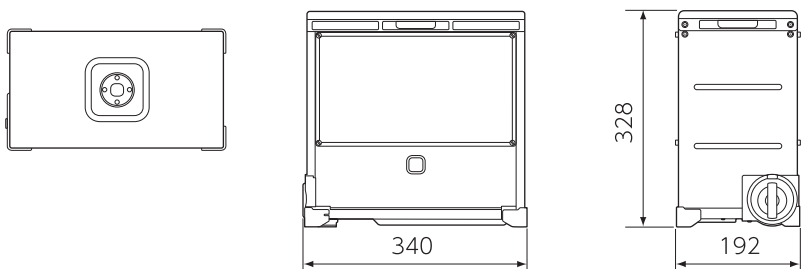
主な仕様

機種名	MYDANRO
型式	CB-MDR-1
点火方式	連続スパーク式点火方式
安全装置	圧力感知安全装置(容器離脱型)、立ち消え安全装置、不完全燃焼防止装置、転倒時消火装置
最大外形寸法(使用状態)	340 mm(幅) × 192 mm(奥行) × 328 mm(高さ)
本体重量	約5.7 kg(容器(ボンベ)は含まず)
使用ガス	ブタンガス
出力(ガス消費量)	標準：約0.56 kW(約480 kcal/h相当 約41 g/h)

連続燃焼時間	イワタニカセットガス使用時：約7時間 使用状況や気温により異なります。 燃焼時間は目安としてください。 (新品容器(ボンベ)を全て使用したときの実測値。 気温 20~25℃)
使用容器	イワタニカセットガスと表示されている専用容器(ボンベ)
出力(ガス消費量)に基づく暖房の目安	本製品は炎の燃焼による熱が発生し、周囲では炎の暖かさを感じることはできませんが、空間全体を温める暖房機能はありません。
使用可能環境	気温 + 5~25℃の室内

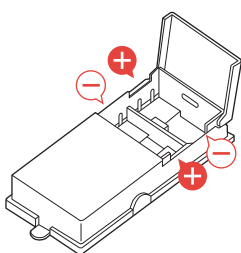
寸法図

(単位：mm)



■乾電池の取り付け方

本体は重いので落下に注意してください。



⊖側から入れる

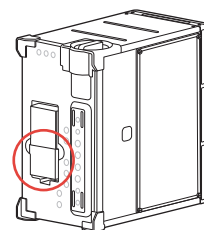
容器(ボンベ)を取り外し、器具せんつまみの面が上になるように本体の側面を下に向けて置きます。お香カバーとお香トレイはあらかじめ外してください。落下のおそれがあります。電池ボックスの蓋を開け、⊕⊖を間違えないように乾電池を入れてください。

乾電池を取り付けると点火できません。また炎感知センサーが機能しません。メーカー出荷品のご購入時には梱包材に単2アルカリ乾電池が同梱されています。

- 交換するときは、新しい単2アルカリ乾電池(2本)をご使用ください。
(乾電池が消耗していると点火しない場合があります。マンガン乾電池は寿命が短くなります)
- 電池ボックスに水や異物が入ると、乾電池接触不良の原因になります。ふき取ってきれいにしてください。
- 付属の乾電池は自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。

<乾電池の残量確認方法>

容器(ボンベ)を外した状態で、器具せんつまみを「ON」方向に回したときの音で確認することができます。
残量あり [スパーク音(チチチ音)]・・・[スパーク音(チッチチチ音)]・・・[スパーク音なし] 残量なし



使用上の注意



危険

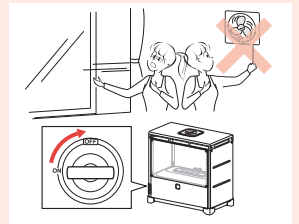


ガス漏れに気づいたら、すぐに火を消す

(引火により爆発のおそれがあります)

●ガスが漏れるとガスのにおい(くさった玉ねぎのようなにおい)がします。
ブタンガスは空気より重く下部にたまります。火気を使用せずに、すぐに次の処置を行ってください。

- ①直ちに火を止める。(器具せんつまみを「OFF」の位置にする)
- ②容器(ボンベ)を取り外す。
- ③窓や戸を開けて漏れたガスを外に出す。(換気扇は使用しないでください)



■使用禁止場所について



次のような場所では絶対に使用しない

(火災や爆発、死亡事故、やけどの原因となります)

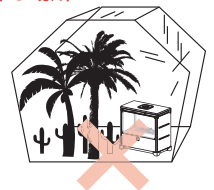
●狭い場所や換気の悪い場所



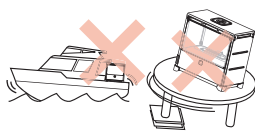
テント内や車内・乗り物の中、トイレ・浴室など閉めきった狭い場所では絶対に使用しないでください。使用中は酸素を大量に消費するため、**酸欠による窒息死**や**一酸化炭素中毒死**の原因になります。また、周囲の可燃物に引火して、火災のおそれがあります。

●乾燥室・温室・動植物の飼育室など特殊な場所

植物が枯れたり動物が死亡するおそれがあります。



●乗り物や不安定な場所、傾斜した場所



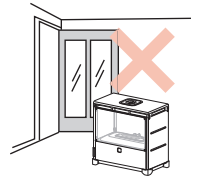
使用中に本製品が傾いたり大きく動いたりすると、炎が大きくなり危険です。また、本体が転倒するおそれがあり危険です。ゆれたり、傾いたり、動いたりすることのない、安定した水平な場所でご使用ください。

●水のかかる場所

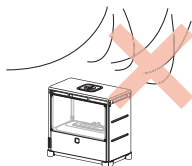
本製品の異常燃焼や高温蒸気によるやけどの原因となります。

●ドアの近く

本製品の転倒ややけどなどのおそれがあり危険です。



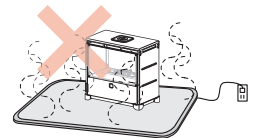
●強い風のところ



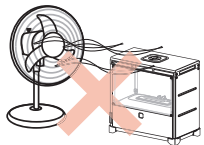
強い風があたるところで使用すると、火が消えたり、バーナーの炎が本製品に巻き込まれ、事故や本体焼損の原因になります。またバーナーの異常燃焼で炎が大きくなり出ることがあります。

●ホットカーペットなどの床面があたたくなるものの上

容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。

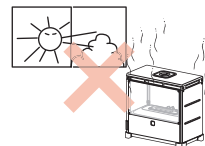


●送風機器(扇風機、サーキュレーター、エアコンなど)の風があたるところ



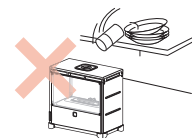
バーナーに風があたると炎が立ち上がり、火災、やけど、本体焼損の原因になります。

●容器(ボンベ)が過熱する場所



容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。直射日光があたるサンルームや窓際などで使用しないでください。

●落下物の危険がある場所



引火や本製品の転倒によるやけどのおそれがあります。

●火気の近くや熱気のアたる場所



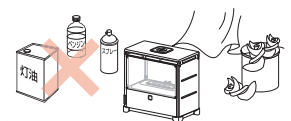
●風の吹き込む場所や風を吸い込む場所



風により炎が横に流れたり、本体内に吸い込まれたりして、本体焼損のおそれがあります。

●容器(ボンベ)・ヘアースプレー

などの高温禁止物やガソリン・灯油・ガスなどの引火物、布・紙類などの燃えやすいもの、ペットボトル、調理油、ライターなどが近くにある場所、毛足の長いじゅうたんの



警告

注意

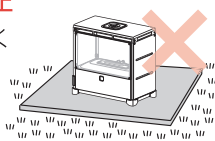


次のような場所で使用しない

(やけどや本体の焼損・変形・変色、家財の損傷などの原因となります)

●じゅうたんなど熱に弱いものの上

毛足の長いじゅうたんのの上に置く場合は、本製品の下に丈夫な不燃性の敷き板などを敷いて水平にしてください。直置きするとじゅうたんが変色することがあります。



●本体の下が砂や小石、あるいは草・植物の切り株などで、容器(ポンベ)やバーナーに対して輻射熱や物理的な影響を及ぼすような場所

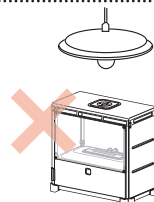
●スプレーや化学薬品を使用する場所、および綿ぼこり・粉塵の多い場所(理・美容院やメッキ・塗装工場など)

可燃性ガスや粉塵に引火するおそれがあります。また、フロンガスや塩素系溶剤は腐食性ガスの発生により金属が錆びたり刺激臭や異臭がする原因になります。さらに健康を害したり、本製品の故障の原因になります。



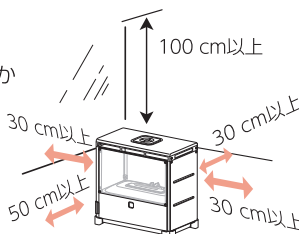
●照明器具などの樹脂製品の下

照明器具のかさなどが変形・変色することがあります。



防災上必要な距離をとって設置する

ご使用の際には家具や壁(木造建築)などの可燃物から側面・背面は30 cm以上、正面は50 cm以上離してください。本製品の上方と可燃性の天井、棚、電気器具などの間は100 cm以上離してください。

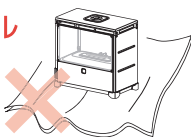


■使用前に

注意



本製品の下に燃えやすいもの、熱に弱いもの(ビニールクロス、新聞紙など)を敷いたり、通気の妨げになるものを置かない



本製品に乗らない

本製品の上に腰かけたり、乗ったりしないでください。落下、転倒などによりけがのおそれがあります。また、本製品の破損による故障ややけどのおそれがあります。



塗装など熱に弱いものなどの上で使用するときは不燃性の断熱材を本製品の下に敷く

使用上の注意

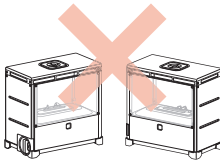
■使用中・使用後は



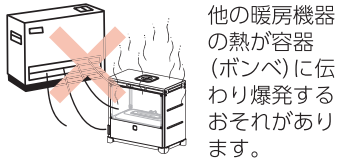
次のような使い方を絶対にしない

(容器(ボンベ)が過熱して爆発や火災、やけどのおそれがあります)

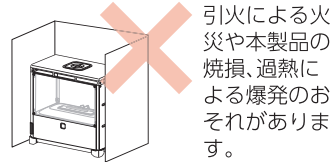
- 本製品を2台以上近づけての使用



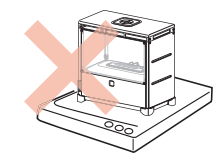
- 他の暖房機器(石油ストーブ、電気ヒーター、ファンヒーターなど)に近づけての使用



- 本製品を囲むように覆いをしたり、乾燥などのために前面や上面を覆うような使い方



- 他の熱源(電気こたろ、電磁調理器等)の上での使用や保管



耐熱ガラス、背面パネル、お香トレイを外したままで使用しない

(やけどや火災のおそれがあります)



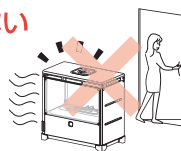
製品の上にやかんや鍋などの調理器具、食材を載せない調理や湯沸かしに使用しない

(火災ややけどの原因となります)



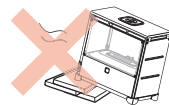
火を点けたままそばを離れない

火を点けたまま本製品のそばを離れないでください。外出や就寝の際は必ず消火を確認してください。電話や来客などの場合も火を消してください。



火を点けたまま傾けたり、持ち運んだりしない

(やけどや火災の原因となります)



引火のおそれのあるものを近くで使用しない

(引火による爆発、火災の原因となります)

本製品を使用中、ヘアスプレーなど引火のおそれのあるものを近くで使用しないでください。



点火棒やライター等を取っ手の上や本体周りに置かない

(爆発のおそれがあります)



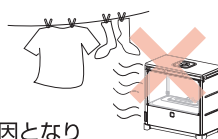
子供だけの場所で使用しない

本取扱説明書を理解した大人の監視がゆきとどかない場所、あるいはお子様しかいない場所で本製品が使用されることのないようにしてください。誤った使用や接触により、火災ややけどの危険があります。



本製品を衣類の乾燥や食品の加熱など本来の目的以外に使用しない

(衣類が落下するなど、火災の原因となります)



使用中は換気をする

(閉めきった部屋で使用すると酸欠による窒息死や一酸化炭素中毒死の原因となります)

使用中は換気に注意し、1時間に1回1分を目安に窓を開けるか、換気扇を回してください。



一度で点火しなかった場合は引火に注意する

(たまったガスがあると、爆発的に点火したり、周囲に引火する危険があります)

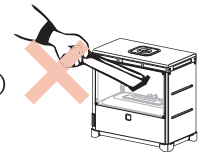
再点火の際は、ガスのにおいがなくなったことを確認してから行ってください。



本製品にはものを入れない

(不完全燃焼や火災の原因となります)

本製品の中に紙、布、異物などを入れたりふさいだりしないでください。



燃焼中および消火直後の本体の上部・金属部分には手を触れない

燃焼中および消火直後の本体の上部・金属部分は、バーナーに近接しているため大変高温になっています。

やけどのおそれがありますので、絶対に触れないでください。



使用後は容器(ボンベ)を取り外す

(装着したまま保管すると何らかの原因で器具せんつまみが回った場合、ガス漏れや引火の可能性があり非常に危険です) 使用後、外出や就寝などのため長時間使用しない場合は、火災予防、ガス事故防止のため、容器(ボンベ)を必ず本製品から取り外してください。



絶対に改造・分解は行わない

(一酸化炭素中毒死やガス漏れなどの思わぬ事故や故障・火災の原因となります)

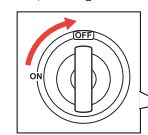
修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。



異常時や地震・火災などの非常時はあわてず次の手順に従う

異常例) 点火しない、使用中に消火する、異常燃焼、異常なおい、異常音 など

異常を感じたときは器具せんつまみを「OFF」にする





- ① 器具せんつまみを「OFF」にして消火する
- ② 容器(ボンベ)を本体から取り外す(P.8)
- ③ 「故障かな?」と思ったら(P.10、11)に従う





使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき燃焼していることを確認する



注意

-  炎の鑑賞、香りを楽しむ以外の用途には使わない
(過熱・異常燃焼による本体焼損や火災、やけどなどの危険があります)
-  本体天面や排気口に顔や手を近づけない
(炎によりやけどのおそれがあります)






-  使用中および消火後しばらくは本製品に手を触れない
使用中および消火直後の本製品は高温になっています。しばらくは器具せんつまみ以外には手を触れないでください。
-  使用中は結露に注意する
本製品は室内燃焼機器のため、気密性の高い部屋などでは壁や天井などが結露する場合があります。使用中は換気をしてください。

■容器(ボンベ)の取扱いについて

容器(ボンベ)に表示されている注意事項をよく読んでから使用してください。使用時以外は必ずキャップをしてください。

警告

-  次のことを必ず守る
(火災や爆発事故の原因となります)
- 高温になる場所に置かない
 高温になる場所や、熱気のアたる場所に保管や放置しないでください。
- 完全に使い切ってから廃棄する
容器(ボンベ)を振ってシャカシャカと音がする場合には、まだガスが残っています。必ず完全に使い切ってから廃棄してください。
- 容器(ボンベ)は火気や直射日光を避けて保管する
使用後は容器(ボンベ)を本体から取り外し、火気や直射日光(室内や車内の窓際なども含む)を避け、キャップをはめて、湿気の少ない40℃以下の場所で保管してください。
- 容器(ボンベ)は火中に投じない


-  容器(ボンベ)のガスを故意に吸い込まない
(酸欠により窒息死の原因となります)
-  容器(ボンベ)に強い衝撃を与えない
(落下による衝撃などで破損やガス漏れによる引火のおそれがあります)
-  変形した容器(ボンベ)は使用しない
(ガス漏れの原因となります)
-  専用の容器(ボンベ)を使用する
必ず「イワタニカセットガス」と表示されている専用の容器(ボンベ)を使用してください。他の容器(ボンベ)を使用すると、ガスが漏れたり正常な使用ができない場合があります。
-  容器(ボンベ)は錆のないことを確認して、製造日(缶底に西暦年月日で印字)から約7年以内を目安に使い切る
錆が発生し始めている場合には、ガス漏れの少ないことを必ず確認して、できるだけ早く使い切ってください。

使い方

- ご使用前に、周囲に燃えやすいものがないか確認し、本製品周辺を片付けてください。
- 気温が5℃以下のところでは使用できません。**容器(ボンベ)が5℃以下になっているとブタンガスが十分に気化せず、点火しなかったり、火力が弱くなります。また、不完全燃焼の原因となります。

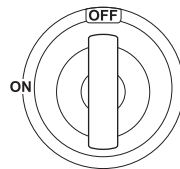
燃料の容器(ボンベ)は、必ず【イワタニカセットガス】と表示されているものをご使用ください

■容器(ボンベ)の取り付け方

下記の手順に従って容器(ボンベ)を取り付けてください。
誤った手順で取り付けたら、予期しない危険が考えられますので、ご注意ください。

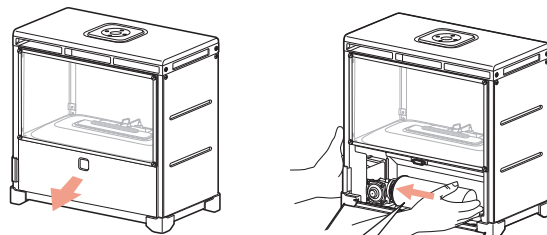
- 容器(ボンベ)を取り付ける前に容器(ボンベ)内に**ガスが残っていることを確認**してください。

- 1 器具せんつまみが「OFF」の位置にあることを確認します。

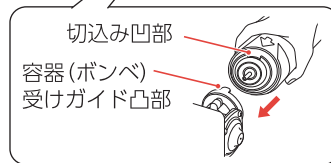


- 2 容器(ボンベ)のキャップを外します。

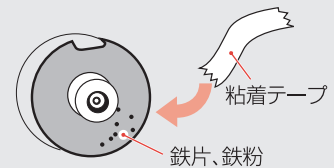
- 3 片方の手で本体を支えながら、もう一方の手で本体前面の容器(ボンベ)カバーを開けます。
マグネットに異物が付着していないか確認してください。



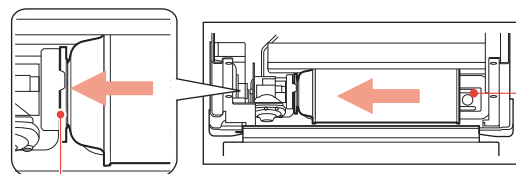
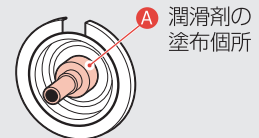
- 4 容器(ボンベ)を装着します。
右図のように容器(ボンベ)の切込み凹部を本製品の容器(ボンベ)受けガイド凸部に合わせます。
容器(ボンベ)の底を押すようにして水平にスライドさせ、容器(ボンベ)が本製品のマグネットに密着するまで押しつけます。



■**マグネットに異物が付着しているとき**
マグネットに鉄片や鉄粉が付着するとガス漏れしたり、容器(ボンベ)を装着できなくなる場合があります。付着したときは、粘着テープを使って取り除いてください。



容器(ボンベ)の取り付け(装着力)が重い場合には、容器(ボンベ)の先端(下図A)に潤滑剤(植物油など)を薄く塗ってください。



イワタニカセットガス使用時
容器(ボンベ)が正しく装着されているときには、容器(ボンベ)の後ろ側に約1.5cmのすきまがあります。
容器(ボンベ)装着部分は多少の「遊び」があり動く設計になっております。問題はございませんので安心してご使用ください。

- マグネットと容器(ボンベ)の間にすきまがないように確実に取り付けてください。
- 装着時にガスの漏れる音やにおいがするときは、**容器(ボンベ)が正しく装着されていないと考えられます。**装着状態を確認し、ガスのにおいがなくなるまで絶対に点火操作をしないでください。
 - 再点火は**容器(ボンベ)装着部に溜まったガスをうちわなどであおいでから行ってください。**

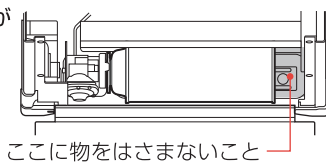
- 5 容器(ボンベ)を装着したら容器(ボンベ)カバーを閉めます。

警告
注意



容器(ボンベ)の底部と本体の間に物(小石や厚紙の束など)をはさまない

(圧力感知安全装置が働かなくなり、容器(ボンベ)が爆発するおそれがあります)



容器(ボンベ)は確実に装着する
(ガスが漏れて火災の原因となります)



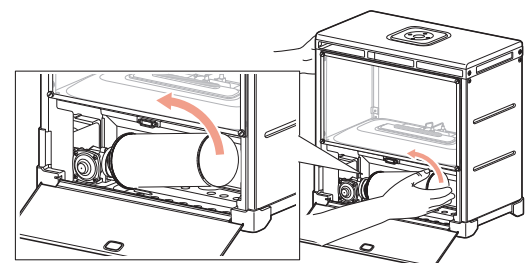
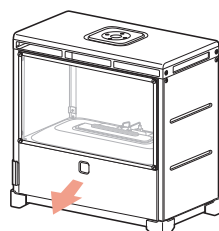
必ず、ガス漏れがないこと、点火・消火動作に異常がないことを確認してから使用する

故障または破損したものと思われるものは絶対に使用しないでください。

■容器(ボンベ)の取り外し方

外出時や、就寝時など、長時間ご使用にならないときは、必ず容器(ボンベ)を取り外し、キャップをして保管してください。

- 1 片方の手で本体を支えながら、もう一方の手で本体前面の容器(ボンベ)カバーを開けます。
消火直後は本体上部が熱くなっています。やけどにご注意ください。
- 2 容器(ボンベ)の底を持ち上げながら取り外します。
- 3 取り外した容器(ボンベ)にキャップを取り付けます。
- 4 容器(ボンベ)カバーを閉めます。



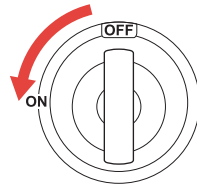
■点火、火力調節と消火

本製品は乾電池を取り付けないと点火できません。(P.3)

① 点火する

器具せんつまみを「ON」方向に「チチチ」と音がするまでゆっくりと回します。

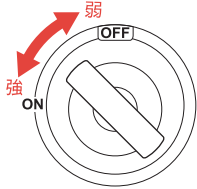
●点火しない場合は、器具せんつまみをすぐに「OFF」の位置まで戻し、数秒間時間をおいてから再度点火してください。一度で点火しなかった場合は、引火しないよう溜まったガスをうちわなどであおいでください。
器具せんつまみを「OFF」の位置まで戻さないと再点火はできません。
(器具せんつまみを「OFF」の位置まで戻さずに再点火の操作を行うと故障の原因になります)



② 火力を調節する

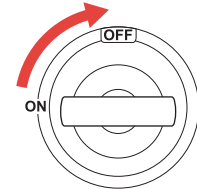
器具せんつまみを「OFF」方向にゆっくり回すと火力は弱くなります。

●本製品は火力調整ができますが、風の影響を受け、立ち消え安全装置が作動するおそれがあります。最大火力でご使用することを推奨します。



③ 消火する

器具せんつまみを「OFF」の位置まで戻します。





■こんなとき点火しにくい場合があります

- 使いはじめや気温が低いとき
→注意しながら数回、点火操作を繰り返してください。
- 容器(ボンベ)内のガス量が少なく温度が低いとき
→暖かい場所で保管した新しい容器(ボンベ)と交換してください。
- 標高が高い場所で使うとき
初めてお使いのとき、部品に付着した油などが焼け、煙やにおいが発生する場合があります。しばらく換気しながらお使いください。

■次のような現象は異常ではありません。そのままお使いください。

点火直後のバーナーの炎は青色ですが、少しずつ黄色の炎に変化します。パイロットバーナーの炎は常に青色で燃焼します。(P.2)





使用中、消火直後は本体の上部・金属部分に絶対に触れない
本体の上部・金属部分は高温になっており、やけどのおそれがあります。

■使用中に燃料が切れて容器(ボンベ)を交換するとき

●直前まで使用していた本製品は熱くなっています。本体の上部・金属部分に手が触れないように注意してください。

- ① 器具せんつまみを「OFF」の位置に戻します。
- ② ガスの入った交換用の容器(ボンベ)を用意し、キャップを外します。
- ③ 「■容器(ボンベ)の取り外し方(P.8)」に従い、容器(ボンベ)を取り外します。
- ④ 「■容器(ボンベ)の取り付け方(P.8)」に従い、交換用の容器(ボンベ)を装着します。
- ⑤ 容器(ボンベ)カバーを閉めます。

●ガスがなくなり炎が消える直前に「ポポポ」と燃焼音がある場合がありますが、異常ではありません。

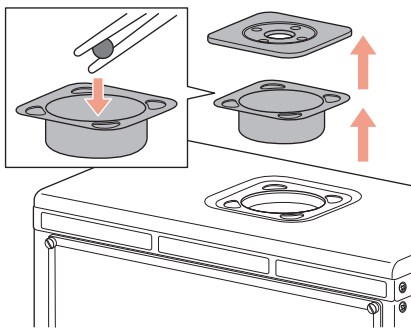


使用中に容器(ボンベ)を交換するときはやけどに注意する
燃料が切れた空の容器(ボンベ)は熱くなっている場合があります。

■お香トレイの使い方と取り外し方

本製品を使用するときは、必ずお香トレイをセットしてください。

お香トレイで使用できるもの：加熱することで香りを発散する香木、練香、印香 / 火気厳禁と記載のないアロマウォーター
着火するタイプのお香や火気厳禁と記載のあるアロマオイルは使用できません。発火による火事の危険があります。



- お香を楽しむ場合は、市販のお香やアロマウォーターの取扱説明書に従って使用してください。
- お香トレイは取り外し可能で、水洗いができます。お香やアロマウォーター使用後はお香の成分やアロマ成分がお香トレイに残ります。中性洗剤で洗ってください。
- 香りを楽しむ用途以外でお香トレイを使用しないでください。
- お香トレイとお香カバーは使用中熱くなります。お香などを追加する際や取り外す場合は、十分に冷めたことを確認して行ってください。お香の取り扱いには箸やピンセットをご使用ください。
- アロマウォーターはお好みによって水で薄めてご使用ください。また、必ずお香トレイの半分(約30cc)を目安に入れてください。蒸発が終わるまで香りを楽しむことができます。(参考目安時間 約55分間 外気温25℃の時の実測値)
- お香によって必要な火力は異なります。香りの広がりに合わせて火力を調節してください。立ち消え安全装置が作動する場合は風のあたらない場所に設置するか、つまみをONの位置(最大火力)にしてご使用ください。

■使い終わったら

- ① 完全に火が消えたことを確認します
消火直後は本体・容器(ボンベ)ともに熱くなっていますので、熱が冷めるまでしばらくお待ちください。
- ② 容器(ボンベ)を取り外します(P.8)
容器(ボンベ)は必ず取り外してください。器具の故障やガスが漏れるおそれがあります。
- ③ 容器(ボンベ)を取り外した状態で点火します
本製品の配管に少量のガスが残ります。危険防止のため、もう一度点火して残っているガスを燃焼させてください。

「故障かな？」と思ったら

本製品を使用中に次のような症状が起きたら、処置方法を参考に対処してください。

症状	処置方法	
	原因の確認	処置
容器(ボンベ)を装着できない → 処置方法 1 2 3 13 14	1 本体に変形や歪みがありませんか？	▶ 点検修理をご依頼ください。
点火しにくい → 処置方法 3 4 5 6 7 8 9 11 15 16 17	2 マグネットに鉄片、鉄粉が付着していませんか？	▶ 粘着テープで鉄片、鉄粉を取り除いてください。
点火しない → 処置方法 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	3 他社の容器(ボンベ)を使用していませんか？	▶ イワタニ専用の容器(ボンベ)をご使用ください。
バーナーに火移りしない → 処置方法 4 6 7 10 16 17	4 ガスがなくなっていますか？ ガスが少なくなっていますか？	▶ 新しい容器(ボンベ)に取り替えてください。
火力が弱い → 処置方法 4 10 16 17	5 乾電池が消耗していたり、誤ってセットされていませんか？	▶ 「乾電池の取り付け方(P.3)」をご覧ください、正しく乾電池をセットしてください。また、記載されている乾電池の残量確認方法を試してください。
点火直後から火力が弱い → 処置方法 16 17	6 電極部に汚れや水分が付着していませんか？	▶ 「耐熱ガラスと背面パネルの取り外し方／取り付け方(P.2)」を参考にして、汚れ・水分をふき取ってください。
低温の環境で連続使用中に火力が弱くなる → 処置方法 16 17	7 バーナー炎口部が目づまりしていませんか？	▶ 点検修理をご依頼ください。
ガスのニオイがする → 処置方法 3 7 8 9 13	8 パイロットバーナーの炎口部が目づまりしていませんか？	▶ 点検修理をご依頼ください。
使用中に火が消えた → 処置方法 4 10 12 20	9 正しく点火操作をしていますか？	▶ 「点火、火力調節と消火(P.9)」を参考に正しい点火操作をしてください。
容器(ボンベ)にガスが残っているのに火が消える → 処置方法 12 20	10 器具せんつまみが故障しているおそれがあります。	▶ 点検修理をご依頼ください。
消火しない → 処置方法 9 10	11 ガス導管(ノズル)が詰まっているおそれがあります。	▶ 点検修理をご依頼ください。
器具せんつまみを「OFF」にしてもガスが漏れる → 処置方法 3 9	12 空気取り入れ口が詰まっていますか？	▶ 掃除機などでほこりを取り除いてください。それでも直らないときは 点検修理をご依頼ください。
電極からスパーク音…(チチチ音)が鳴り続ける → 処置方法 9 18 19 20	13 圧力感知安全装置が作動していませんか？	▶ 「安全装置について(P.3)」の「作動時の対処方法」に従って解除してください。
	14 容器(ボンベ)が正しく装着されていますか？	▶ 容器(ボンベ)を正しく装着してください。(P.8)
	15 点火装置が故障しているおそれがあります。	▶ 点検修理をご依頼ください。
	16 お使いの場所の温度が低くありませんか？	▶ 室温+5～25℃でお使いください。
	17 容器(ボンベ)の温度が低くなっていますか？	▶ 暖かい場所で保管した容器(ボンベ)と交換してください。
	18 電極からバーナーに火花が飛んでいますか？ 電極の位置がずれていませんか？	▶ 点検修理をご依頼ください。

症状	処置方法	
	原因の確認	処置
新しい乾電池を正しくセットしても電極から…スパーク音(チチチ音)がしない → 処置方法 5 15	19 フレームロッドがバーナーに接触していませんか？	▶ 点検修理をご依頼ください。
消火時に「ポッ」という音がする → 処置方法 21	20 風のある場所で使用していませんか？	▶ 風のない場所でお使いください。
	21 火が消えたときの音で異常ではありません。そのままご使用ください。	

部品のご案内

取り替え可能な消耗部品・別売部品は、必ず当社の純正部品をお使いください。
別売部品はP.2をご参照ください。

修理・部品のご購入について

部品ご購入の窓口
イワタニサービスセンター



0570-200362

(受付:月～金 9:00～17:00)
祝日、弊社休業日を除く

主要部品については、イワタニグループの通販サイト

イワタニ i-COLLECT

で販売しております。

右の二次元バーコードより部品のご案内をご覧ください。

<https://www.iwatani.co.jp/jpn/consumer/products/cg/support/parts/>
(部品のご案内はこちら)



使用後のお手入れと点検

■点検・お手入れの際のご注意 使用後は点検、お手入れを行ってください。

- お手入れや点検をする前に、周囲に燃えやすいものがないか確認し、本製品周辺を片付けてください。
- 手、指の保護のため、必ず手袋などを使用してください。
- 本体の丸洗いは絶対におやめください。ガス通路に水が入ると、ガスが出なくなったり、錆の原因となります。
- 点検・お手入れの前には、必ず容器(ボンベ)を取り外してください。
- 点検、お手入れは本製品が冷めてから行ってください。
- ガス通路部分は絶対に分解しないでください。

■各部のお手入れ

点検	お手入れ方法	ご注意
バーナー周囲のほこり	耐熱ガラス、背面パネルを取り外してお手入れしてください。 耐熱ガラス、背面パネルの取り外し方は→P.2	バーナー周囲のほこりは異常燃焼の原因になります。常にきれいにしておいてください。
本体の汚れ	中性洗剤をしみこませた布でふいた後、やわらかい布で乾拭きしてください。	シンナー・ベンジン・みがき粉などの使用は、表面を傷つけるおそれがあります。

●安心してお使いいただくために、定期的に(3年に1回程度)点検整備を受けられることをおすすめします。

点検整備は裏表紙に記載のお客様相談室にお申し出ください。

●ご使用の有無にかかわらず、古くなった製品は、安全のためご使用前に点検修理をご依頼ください。

※部品保有期間が過ぎた製品は、修理ができない場合もあります。

■長期間使用しないとき

- 各部分が汚れていないか、よく乾いているか確認してください。
- 各部分が十分冷めてから、梱装箱または袋に入れて、湿気の少ない場所に保管してください。
- 本体に容器(ボンベ)を装着したままで保管することは絶対におやめください。別々に保管してください。
- 本製品は、ときどき点検して、錆びたりしないようお手入れを行ってください。

■製品の経年劣化に関するご注意

本製品のガスの接続口にはゴム部品が使われていますが、ゴム部品は使用の頻度にかかわらず年月とともに劣化していきます。

本製品においては、製造後10年を目安に買い替えをご検討いただけますようお願い申し上げます。

●製造年月は定格銘板に記載されています。

